

総合 CATALOGUE

日本空糸

Japan Soraito
Rope Access Venture



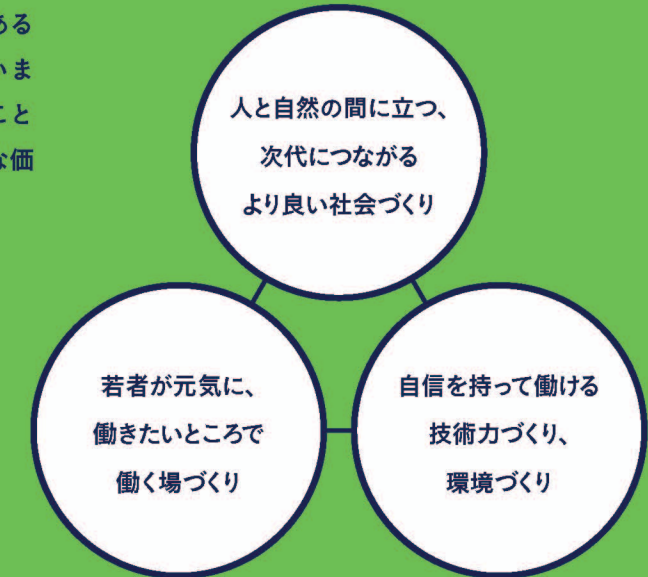
東北密着！日本空糸株式会社。愛称は、“ソライト”東北出身の若い世代を中心に結成されたインフラ調査・点検の専門チームです。

We are 日本空糸

特殊なロープを用いた・特別な移動手段を使って、インフラ調査・点検の専門チームが現地に伺います。対象は、橋梁・ダム・斜面・岩壁・その他の構造物など多岐にわたります。東北だけでなく、全国津々浦々へ！東北から元気を発信したい。師・先輩方に教えて頂いた技術をもって地元を盛り上げたい。そんな想いで運営しています。

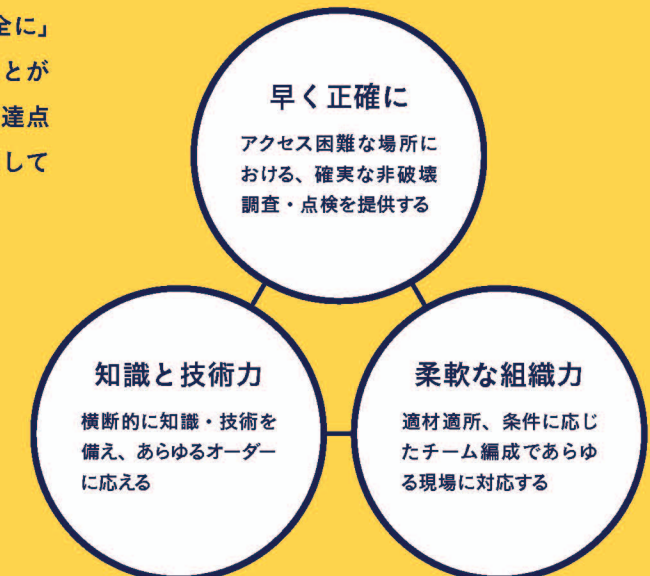
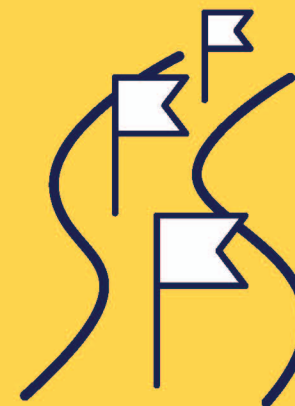
VISION

私たち日本空糸は、企業活動を通してその先にあるより良い社会の実現に向けた取り組みをしています。すべてのスタッフがのびのびと、変化することを恐れず、自立した技術者でいられる、表面的な価値向上だけでなく、仕事場づくりを目指します。



MISSION

人が通常では行くことができない場所へ「安全に」アクセスし、社会インフラの保全に寄与することが私たちの使命です。お客様の数だけある目標到達点へ向け、あらゆる情報を処理し、実行計画を通していかなるアクセスをも可能にしていきます。





CORPORATE ACTIVITY

より確かなサービスを可能にするための取り組み、活動を紹介します。

SAFETY MANAGEMENT

法令を超える5つの安全管理

当社は業界トップクラスの安全管理体制で運営しております。

01

ロープ高所作業での《安衛則》※1
を超える現場に則した
安全管理を実施。

02

豊富な知見に基づく
特別教育 & 講習の実施。
外部講師による知識の増強。

03

機材のチェックから
保管、使用方法に至るまで
スタッフ全員が熟知。

器材に不具合があったときの代替案も。

04

人的ミスがあっても
機能する
ロープシステムの構築。

05

万が一に備えての
「セルフレスキュー技術」の
維持・向上。

定期的にレスキュー訓練を実施。
一般公開訓練も実施。

※1 安衛則とは？

ロープで労働者の身体を保持して工事や
作業などを行ういわゆる「ロープ高所作
業」について厚生労働省が規定した労働
安全衛生規則のこと。

TECHNICAL INFOMATION

日本空糸の採用する技術

日本空糸では以下の3つのノウハウを組み合わせることで、
どのような現場状況であっても『より安全な作業』をご提供することが可能です。

バックアップロープを使用した2本のロープで作業するためのノウハウ

+

1本のロープで安全に作業するためのノウハウ

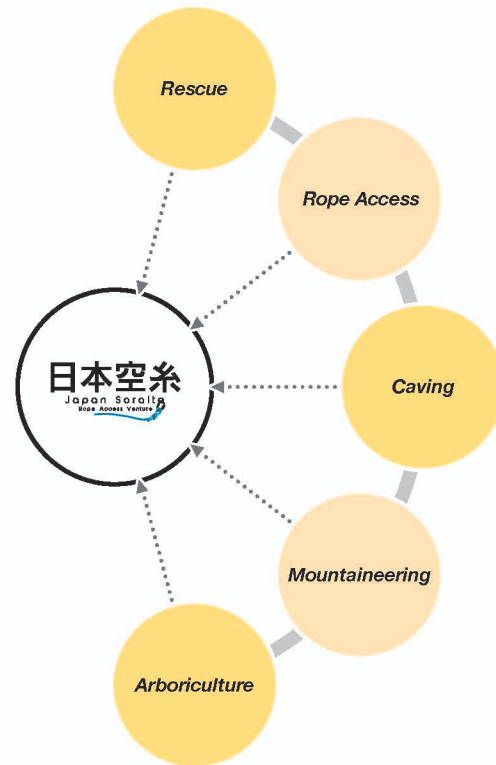
+

産業用ロープアクセスの枠にとられない他分野のロープ技術のノウハウ

日本空糸は、ISO22846に規定される「ロープアクセス」だけではなく、洞窟探検由来のSingle Rope technique（産業向けに改良されたもの）や、山岳技術、レスキュー技術を日々取り込んでおり、様々な状況下においての安全な活動を目指しています。

参照する指針や規格（ISO、EN、ANSI、NFPA、国内法etc...）は対象によって変わりますが、周辺の構造物、樹木、岩、車両にアンカーを取得し、対象にアクセスすることは共通しています。

年間を通して、全国の地上100m～地下50mに位置する場所の調査・点検などのお手伝いをしています。



+ INFOMATION

調査について

お客様との打ち合わせを行う際は、事前に以下のような情報を確認させていただいております。

- ▶ 対象物の概要 ……………
 - ・ 橋梁諸元
 - ・ 下見写真

- ▶ 調査・点検などの概要 ………
 - ・ 希望予算
 - ・ 希望時期－現場実施日/納品期日
 - ・ 希望スベック－特記仕様書/納品仕様/内容/記録頻度（写真点数など）
 - ・ 業務の対象範囲
 - ・ 業務の種別（定期点検、補修設計など）
 - ・ 他作業との干渉（橋梁点検車、測量、足場など）
 - ・ 前回点検のデータ
 - ・ 駐車位置

- ▶ アクセスのための情報 ………
 - ・ ロープを結ぶ場所－数/位置/間隔/堅牢性
 - ・ 部材数

調査対象の
特徴と
ポイント

垂直方向に長い
対象物は、
ロープの設置に
時間がかからない

水平方向に長い
対象物は、
ロープの設置に
時間がかかる

見るべき場所、
撮影枚数が多くなると
地上での点検に比べて
時間が増加しやすい



日本空糸では、ロープ上でのサービス品質向上のため、年間100～200程度、通常の調査・点検のお手伝いもしています。地上での作業との違いの説明、時間の節約方法などをご提案いたします。

WORKFLOW

日本空糸では仕事のご依頼から業務に至るプロセスを明確にし、お客様とのコミュニケーションを円滑に進めます。



ESTIMATE POLICY 〈見積りポリシー〉

見積りに対する考え方を統一し、業務内容に応じた明快な価格提示でお客様に納得いただける品質をお届けいたします。

十分にヒアリングをした上で、見積書を作成し、見積書以上のご請求は致しません。

事前にできる限りの情報をいただき、予算にあわせた調査スペック^{※1}の設定をします。

※1: 下降本数・変状の最低記録ラインなどの調整

年1回、価格の見直しをし、1年を通して同一作業・同一金額とします。

同時期・同一案件について、どのような場合でも弊社がお出しする見積書は同一金額です。

上記を踏まえ、三社見積り代行はできません^{※2}。

※2: 業界の価格設定が複雑になり、上記の同一作業・同一金額を守ることが出来なくなるため
(三社見積りうちの弊社にさせていただくことは喜んでお受けします)

調査範囲の増加など、内容に変更があれば、金額変更^{※3}となります(再見積)。

※3: 追加の依頼には、別途費用が発生します。

例1) ついでに、橋脚もいけます?

例2) やはり、現地を見て、調査スペックを引き上げたくなりました…

例3) 見積り段階ではなかったんだけど…あそこもよろしく!

緊急案件^{※4}・長期現場^{※5}の場合は、別途費用を計上する可能性があります。

※4: お問い合わせの日から現場開始までが五営業日以内であるとき

※5: 滞在期間が二週間を超える場合

4～6月実施の現場を、発注頂いた方には春割を適用します。

お見積りは無料です。

SOLUTION

日本空糸では大きく分けて4つの分野において、ロープアクセス技術を活用した専門的なサービスを提供しています。

調査案件相談、タイアップなどお気軽にご相談ください。



01

STRUCTURE INSPECTION

構造物調査部門

橋梁、ダム、水門など
土木建造物の点検を行います。



02

TREE CARE

ツリーケア部門

樹木管理、支障木の剪定などを
行います。



03

GEOLOGICAL SURVEY

地質調査部門

地表調査、急崖調査、
物理探査支援などを行います。



04

PROFESSIONAL TRAINING

教育部門

ロープ技術者の育成、安全管理
などに関する教育を行います。

info P.20 では講習に関する詳細情報を紹介しています。



WORKS

これまでに請け負った業務を業務種別ごとに分類して紹介いたします。掲載しているデータはお見積りや作業計画において重要な基礎情報です。

TYPE ▶ 鈹桁橋

DATA ▼



- サイズ 橋長127m、全幅員12m
- 径間数 3径間
- 支間長 27.4m、69.65m、27.4m
- 竣工年 1996年
- 点検対象 上部工（路面除く）
- 地域 北海道 美瑛町
- ロープアクセス採用の理由 歩道幅が広く、橋梁点検車使用不可
- ロープを結ぶ主な場所 垂直補剛材スカルップ、対傾構

TYPE ▶ 箱桁

DATA ▼



- サイズ 橋長67m、全幅員3.3m
- 径間数 1径間
- 支間長 53m
- 竣工年 不明
- 点検対象 上部工（路面除く）
- 地域 埼玉県 秩父市
- ロープアクセス採用の理由 歩道橋であり、法面も隣接しているため橋梁点検車使用不可
- ロープを結ぶ主な場所 橋面（高欄）

TYPE ▶ トラス



DATA ▼

- サイズ 橋長140m、全幅員7.6m
- 径間数 6径間
- 支間長 63m、63m、63m、25m、25m
- 竣工年 1952年
- 点検対象 床版、下部工
- 地域 宮城県 石巻市
- ロープアクセス
採用の理由 歩道橋に付き、橋梁点検車
使用不可
- ロープを結ぶ
主な場所 橋面（高欄）

TYPE ▶ アーチ



DATA ▼

- サイズ 橋長73m、全幅員4.5m
- 径間数 4径間
- 支間長 9.2m、55.2m、9.2m
- 竣工年 不明
- 点検対象 下部工
- 地域 埼玉県 秩父市
- ロープアクセス
採用の理由 交通量が多く、見通しも悪
いため橋梁点検車使用不可
- ロープを結ぶ
主な場所 橋面（高欄）

TYPE ▶ 吊材および主塔



DATA ▼

- サイズ 橋長274m、全幅員6.2m、主塔高40m
- 径間数 2径間
- 支間長 152.2m、120m
- 竣工年 1991年
- 点検対象 主塔、吊材
- 地域 岩手県 金石市
- ロープアクセス
採用の理由 主塔が高く、また吊材があるため
全面点検には高所作業車使用不可
- ロープを結ぶ主な場所 主塔内部（はしご・スカラップ）

TYPE ▶ 吊り橋全面



DATA ▼

- サイズ 橋長95m、全幅員2.2m
- 径間数 2径間
- 支間長 47.5m、47.5m
- 竣工年 1981年
- 点検対象 吊り橋全面
- 地域 北海道 南富良野町
- ロープアクセス
採用の理由 河川により梯子不可、木製吊り橋
のため橋梁点検車使用不可
- ロープを結ぶ主な場所 主ケーブル

TYPE ▶ ハイピア



DATA ▼

- サイズ 橋長170.4m、全幅員9.5m、42m
- 径間数 3径間
- 支間長 77m、77m、77m
- 竣工年 1991年
- 点検対象 橋脚全面
- 地域 北海道 日高市
- ロープアクセス
採用の理由 ハイピアのため、橋梁点検車使用
不可
- ロープを結ぶ主な場所 橋面（高欄）

TYPE ▶ 跨線橋



DATA ▼

- サイズ 橋長76.1m、全幅員2.2m、地上高さ8m
- 径間数 3径間
- 支間長 42.23m、15.48m、18.46m
- 竣工年 1969年
- 点検対象 上部工（橋面除く）
- 地域 北海道 富良野市
- ロープアクセス
採用の理由 コスト面を含め総合的判断により、
ロープアクセスを採用
- ロープを結ぶ主な場所 橋面（高欄）

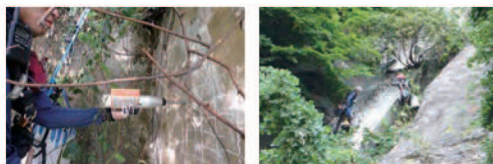
TYPE ▶ 堤体 (台形 CSGダム)



DATA ▼

■ サイズ	堤頂長 461.5m
■ 斜度	60°
■ 比高差	堤高 39.0m
■ 竣工年	2012年
■ 点検対象	堤体全面
■ 地域	沖縄県 国頭郡
■ 実施内容	堤体全面の打音調査
■ ロープアクセス 採用の理由	コスト面を含め総合判断により、 ロープアクセスを採用
■ ロープを結ぶ 主な場所	橋面 (高欄)

TYPE ▶ 調圧水槽 (ロックフィルダム)



DATA ▼

■ サイズ	直径5m
■ 斜度	90°
■ 比高差	堤高 50m
■ 竣工年	1963年
■ 点検対象	調圧水槽内全面および周辺施設
■ 地域	秋田県 湯沢市
■ 実施内容	外観調査、中性化試験、シュ ミットハンマー試験
■ ロープアクセス 採用の理由	対象が垂直、かつ比高差が あるため
■ 実施内容	天端 (高欄、屋根部支柱)、 周辺施設

TYPE ▶ 導流壁 (ロックフィルダム)



DATA ▼

■ サイズ	延長30m
■ 斜度	90°
■ 比高差	10m
■ 竣工年	2013年
■ 点検対象	導流壁、ゲート
■ 地域	秋田県 湯沢市
■ 実施内容	外観調査、中性化試験、シュミット ハンマー試験、コア抜き (湿式)
■ ロープアクセス 採用の理由	対象が垂直、かつ水上である ため
■ ロープを結ぶ 主な場所	天端 (高欄)、周辺施設

TYPE ▶ 余水路 (重力式玉石コンクリートダム)



DATA ▼

■ サイズ	直径5m
■ 斜度	35°
■ 比高差	50m
■ 竣工年	1952年
■ 点検対象	導流壁、ゲート
■ 地域	山形県 最上郡
■ 実施内容	外観調査、中性化試験、 シュミットハンマー試験
■ ロープアクセス 採用の理由	足場組立不可のため
■ ロープを結ぶ 主な場所	天端 (高欄)、余水路側壁 (取外可能な人工アンカー)

TYPE ▶ 水門



DATA ▼

- サイズ 延長 42m、高さ 13m
- ロープを結ぶ主な場所 ゲート室（鋼材）
- 対象部材 コンクリート / 鋼
- 地域 岩手県 九戸郡
- ロープアクセス 検査廊が無く、通常の方法では近接不可
- 実施内容 外観調査

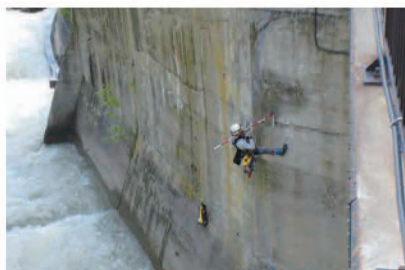
TYPE ▶ モニュメント



DATA ▼

- サイズ 半径 5m、高さ 30m
- ロープを結ぶ主な場所 頭頂部
- 対象部材 コンクリート
- 地域 岩手県 花巻市
- ロープアクセス 山頂に設置されており、かつ検査用梯子など一切ないため通常の点検方法では近接不可
- 実施内容 外観調査

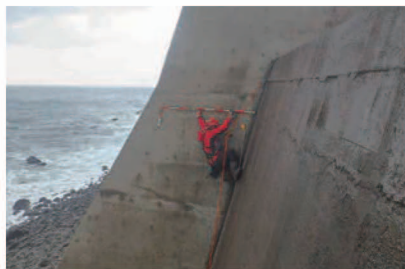
TYPE ▶ 擁壁



DATA ▼

- サイズ ---
- ロープを結ぶ主な場所 天端（植生）
- 対象部材 コンクリート
- 地域 北海道 上川郡
- ロープアクセス 河川に面しており、通常の方法では近接不可
- 実施内容 外観調査、シュミットハンマー試験

TYPE ▶ 覆道



DATA ▼

- サイズ 延長 50m、高さ 19m
- ロープを結ぶ主な場所 天端（人工アンカー）
- 対象部材 コンクリート
- 地域 北海道 岩内郡
- ロープアクセス 海に面しており、通常の方法では近接不可
- 実施内容 外観調査

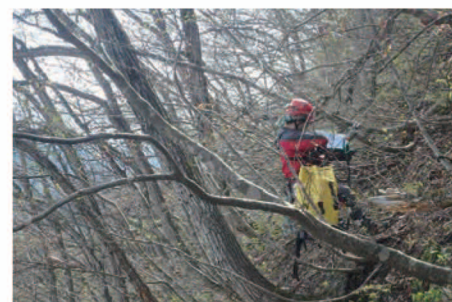
TYPE ▶ 支障木伐採



DATA ▼

- 対象本数 3本
- 樹種 コナラほか
- 樹木の状態 健全
- 保全対象 県道
- 周辺斜度 30°～80°
- 地域 岩手県 北上市
- 特記事項 景観向上および第三者被害防止のため伐採

TYPE ▶ 道路防災点検



DATA ▼

- サイズ 延長 500m、高低差 220m
- 保全対象 県道
- 周辺斜度 20°～80°
- 地域 秋田県 湯沢市
- 特記事項 長大斜面対応事業の一貫で実施

TYPE ▶ SRT講習



3日間で、基本的なロープワークを学びます。基本的なシステム構築、状況に応じた中間セットの選定・設置が可能になります。

公開レスキュー訓練 OPEN RESCUE TRAINING



2008年6月14日、岩手県内陸南部を震源とする岩手・宮城内陸地震が発生しました。この地震では特に山地での斜面の崩壊や土石流による被害が大きなものとなりました。一関市においては国道342号にかかる祭時（まつるべ）大橋が周辺の斜面崩壊により橋桁が折れ曲がる大規模な被害がありました。



一関市巖美町祭時
祭時大橋展望の丘
東北自動車道一関ICから30分

一関市

本訓練は、一関市の協力のもと災害遺構として保存されている祭時大橋を会場に行う、大規模災害を想定した公開レスキュー訓練です。弊社スタッフを含む県内外の消防職員などの有志が組織の枠を超えて参加しています。



- 一般の方も自由に見学できます。
- 一定レベルのオンロープ技術を有する方は事前の申し込みにより訓練に参加可能です。
※事前のスキルチェックあり
- 開催予定：例年**6**月
- 開催情報は弊社ホームページにて掲載します。
詳細についてはお問い合わせください。

SEMINOR INFORMATION 〈講習情報〉

SRT 講習 SRT: Single Rope Techniqueの略

通常では考えられない、あらゆる場所にアクセスすることのできる全天候型（雷だけは苦手です）の技術です。高所、地下、学術調査、産業、レスキューなど幅広いフィールドに適用できます。

《スタンダード》

- ・定員 3名様まで ※お申し込みは1名様から可能です。
- ・受講料 105,000円/団体【保険料込(保険は1ヶ月有効)】
- ・日程 合計3日間

《アドバンス》

SRT講習スタンダードを修了された方のみ受講可能です。定員・受講料・日程はスタンダードと同じです。

オンロープレスキュー訓練

SRT講習スタンダードを修了された方のみ受講可能です。

- ・定員 3名様まで ※お申し込みは1名様から可能です。
- ・受講料 105,000円/団体【保険料込(保険は1ヶ月有効)】
- ・日程 合計3日間

受講日程の調整が可能です

3日間連続での受講が難しい方へ

《日曜コース》 週末をまたぎ日曜日を利用して受講するコース

《夜間コース》 仕事終わりの夕方～夜の時間で受講するコース

ロープ高所作業特別教育

法令に則った内容はもちろんのこと、ロープアクセス技術を基礎とした充実した講習内容です。

- ・開催 毎月第一土曜日
- ・定員 最大10名(最少開催人数3名)
※お申し込みは1名から可能です
- ・受講料 12,000円/人【修了証発行手数料込】
- ・日程 午前・座学、午後・実技
- ・開催可否 開催1週間前までにお知らせします

施設利用について

訓練塔 予約制で自由に利用することができます。



- 利用体制 1団体貸切利用
※安全面から必ず2名以上で利用すること。
- 利用料金 ① 1回券[4h×1] …… 5,000円
② 5回券[4h×5] …… 20,000円



講習の申し込み方法

弊社ホームページ内の専用フォームよりお申し込みください。



お問い合わせは電話、メール、上記フォームから受け付けています。できる限り迅速な対応を心がけていますが、お急ぎの場合は電話でのお問い合わせをお願いします。

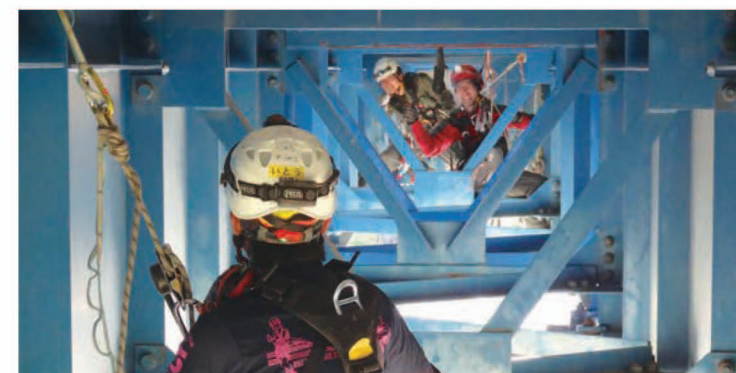
受講料のお支払い方法

講習日の1週間前までに銀行振込にてお支払いください。

キャンセル料金について

規定に基づき以下の日にちにキャンセルされる場合キャンセル料金が発生しますのでご了承ください。

- 開催7～3日前のキャンセルの場合: 受講料の30%
- 開催前日～当日のキャンセルの場合: 受講料の100%



にっぽんそらいとかぶしきがいしゃ

日本空糸株式会社

〒021-0902 岩手県一関市萩荘字谷起島北方194-13

TEL 0191-48-4046 / FAX 0191-48-4047

e-mail info@japansoraito.com

<https://www.japansoraito.co.jp/>



© 2019 Japan Soraito Inc.